



マンガ・アニメ研究と
日本語研究・日本文学研究

交差するから もっとおもしろい



藤女子大学 日本語・日本文学科には、古代から現代に至るまでの日本語・日本文学・日本文化の全領域をカバーする教員が揃っています。

他の専門領域からはマンガ・アニメ研究はどのように見えているのでしょうか？

“日本語・日本文学科で” マンガ・アニメを研究することにはどのような意義があるのでしょうか？



藤女子大学 日本語・日本文学科

札幌市北区北16条西2丁目

E-mail : nichibun@fujijoshi.ac.jp

TEL : 011-736-5408

学科HP : <https://fujijoshi.ac.jp/dept/literature/jpn/>

既刊のチラシを
こちらからご覧いただけます



日本語・日本文学研究とマンガ研究の接点

日本語・日本文学科 教員座談会

～日本文化としてのマンガ～

10月11日（土）の藤陽祭にて、日本語・日本文学科の教員が「日本語・日本文学における異性装 ～古典からマンガまで～」と題するシンポジウムを開催します。今回はそれに先立って行われた座談会の様子をお届けします。

*参加者：押山（日本の少女マンガ）、小山（平安文学）、山本（江戸文学）、野澤（近現代文学）、伊藤（日本語学）

山本：このシンポジウムは、現代のマンガを日本文化の延長線上に位置付けてみるという試みで、テーマには「異性装」（女性による男装・男性による女装）を設定しました。押山先生の主な研究対象は女性の男装ですよね。

押山：そうです。

山本：やはり先生の推しキャラクター、『ベルサイユのばら』のオスカルがきっかけですか。

押山：かっこいいですよ。オスカルは、容姿造形も興味深いんですよ。目の形が、女性キャラクターと違って、男性的に描かれているんです。

山本：言われてみるとそうですね！異性装って、現代のマンガでよく見る設定ですけど、実は日本の古典にもたくさんありますよね。

小山：『堤中納言物語』の「虫愛づる姫君」は、姫君が男性用の白い袴を着ますよ。

山本：それは、男装ということですか。

小山：そう。でも、「無性」ということかも。無性である少女時代の主人公が、社会的な性を押しつけられていく物語として読むことができるんです。

伊藤：異性装を成り立たせる要素の一つに、言葉もありますよ。役割語とか。言葉遣いを聞くと、人物が思い浮かぶ。

野澤：女の子の「……わよ」とかですね。現代小説でもマンガでも女の子は「……わよ」って言うけど、リアルではないですよ。現実の女性は遣わない。

伊藤：現代の話し言葉は性差が小さいので、そうじゃない言葉を遣わせますよね。マンガなんかでも、女の子が男子校に潜り込むっていう設定だと、男装するだけでなく言葉遣いも変える。

山本：日本文化の中の異性装を考えてみると、いろんなことが見えてきますね。シンポジウムでさらに掘り下げるのが楽しみです。



異性装を考える — 作品・文献案内 —

【平安文学】

『とりかへばや物語』

12世紀半ば頃

*男君が女性、女君が男性として育てられる

【江戸文学】

曲亭馬琴『南総里見八犬伝』

1814（文化11）-1842（天保13）年刊

*八犬士の一人、「犬坂毛野」は女装の犬士

【近代文学】

谷崎潤一郎「秘密」

初出：『中央公論』1911年11月号

*男性が女装をして「秘密」を楽しむ話

【マンガ・アニメ】

葉鳥ビスコ『桜蘭高校ホスト部』

マンガ（初出）：『LaLa』2002年9月号-2010年11月号

アニメ：ボンズ制作、全26話、日本テレビ他で2006年4-9月放送

*マンガとアニメで異なる面白さ

【日本語】

金水敏『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』

岩波書店、2003年

*「役割語」研究のはじまりとなった本

藤オープンリサーチフォーラムでも、本学科教員が同じテーマでシンポジウムを行います。ぜひお越しください。

2025年度

藤オープンリサーチフォーラム

2025年11月8日（土）

11:00-17:30

チカホ 北大通交差点広場



模擬講義配信
申込フォーム



動画でイベントを楽しもう！

藤陽祭でのシンポジウムの動画を後日配信予定です。夏のオープンキャンパスでの模擬講義「マンガをく読む」ことについて考えてみよう！」も好評配信中。どちらもお申込はQRコードから！

シンポジウム配信
申込フォーム



2025年度藤陽祭
詳細情報

